



朝日町の産業をさぐる

特産「蛭谷紙」

深雪に埋もる蛭谷の山郷にも、紙すき場の障子に日が射せば、チラチラと水かけがおどって、紙たたく音と、すく人たちのにぎやかな話し声にも春の動きが感じられる。

この地方で、和紙はすべて、ひるたん紙」でまかり通るほどに親しまれている蛭谷紙は、いまから数百年前(時代は詳ではないが)から戦前まで、部落のすべての人たちが競って紙をすいたもので、最盛期には、二万束(時価二千万円)も産出したと言われている。

往時は、地主の年貢帳から、商店の大福帳は言うに及ばず、障子紙に至るまで蛭谷紙が利用され、そのほとんどが近郷近在で消費され、旧郡内の三日市(黒部市)までの需要に応じ切れなかったほどであった。

それが、戦時下の繊維統制で、長野方面から大量に移入していた原料の「こうぞ」が入手できなくなり、急激に生産が減少し、現在の朝日地域内の山野で産するわずかのこうぞを原料として製紙を続けてきたが、戦後機械製紙の発達と共に原料の入手も更に困難となり、加えてビシネスも、大福帳も洋式帳簿になり、障子も、ガラスに変わり、それにまた冬期でも土建関係の現金収入があるようになり、急転直下、蛭谷紙の紙すきも斜陽産業化していったのである。

る。

和紙は、一名羊皮ともいわれるがこれは衣料として羊皮を用いていた古代に和紙の出現によってこれが代用されたものでその名が残っている。

戦国時代、和紙の衣を水に濡らして着るすれば、刀も槍もおらぬといわれ、戦場にこれを着ていくというものであるといわれる。

手すきの和紙の原料は主に「こうぞ」と「みつまた」で、「みつまた」は繊維が短いため機械化に適しているが、「こうぞ」は繊維が長いいため手すきの方が適している。

和紙の工程は、落葉後狩り取ったこうぞを、一、五米ほどに切りそろえ、束にして大釜に入れ、二時間ほど煮て皮をはぐ。その皮を水や雪にさらしてから再び苛性ソーダを加えて煮る。さらにゴミを取り除いてもう一度煮てから水につけ、それを手まり大の大きさにして平らな石の台の上で小槌の上で叩き繊維をほぐす。それをすき舟(約二米×一米、深さ〇、七米)に水を入れ、ニレ(黄蜀葵)の根をつぶしたトロトロの汁を加えて繊維のつながりにし、よくかきまわしてから、すのこですき上げ、これをすき床に重ね、一日すきためた紙を、板にはさんでジャツキにかけ水分をとり、それを乾燥器の鉄板に、刷毛で一枚ずつはいで、一枚ずつ張り、それが乾くと「びるたん紙」ができ上がるわけである。

—10—

紙すきの技術は、一人前になるまで三年はかかるといわれるが、これらの技術は、もと以前から伝わってきたものらしく、越中では千二百年前の記録があるが、蛭谷紙の記録についての記録が不詳なのは残念なことだ。

北陸線の開通するまでは、信州方面からくる原料を、糸魚川まで歩いて取りにいったそうである。明治の末までは、生りながら半紙大の紙をすいていたが、明治四十二年、現王手製紙の重役、井上才次郎氏を当時美濃(岐阜県)から講師として招き二年間その指導をうけ、さらに村から二名の実習生を美濃に派遣して新技術を習得し、現在の半紙五枚大の大きさをのものを、立ててすけるように進歩したものである。

栄枯盛衰、ひるたん紙一も現在では氣息奄々、目下二十戸前後のものが細々とその命をつないでいる状態で、この保存に、有識者の憂うところ大である。

今後、町や県当局の指導助成により、民芸品や、書画用紙として、この全国でも貴重な、しかも純粋なこのびるたん紙を、特に日本画や版画用紙としても珍重がられている折柄、これを産業化へと進めたいものである。既に、国内の著名な画家や版画家や、町出身の画人らによってこれらの人たちの作品を通して欧米諸国にまで紹介されるに至っており、その優秀さも認められており、町の特産物として、宮崎わかめなどと共に他に比較のない貴重な産物として脚光を浴びる日の遠くないことを信じたい。

朝日町長に中川雍一氏当選

十二月二十六日、前朝日町助役中川雍一氏(泊三六六、四二才)は、第五代(三人目)朝日町長に就任されました。

ご承知のとおり、十二月二十六日投票予定の町長選挙に無競争で当選されたもので、県下一番の若い町長として、その手腕が期待されます。



このたび急逝されました前本村町長のあとをうけ、朝日町長に就任いたしました。幸いにして、昭和四十二年の新春を迎え、町民各位には清新の気のみなぎりす折柄、一言ごあいさつできま

せん。思いまするに、昨年は、経済界を包んだ不況の暗雲のうちに暮れ、まだ、十分な立直りをみないまま迎える昭和四十二年でありまして、部分的には回復が報せられても、地方末端への効果波及はいまだの感があります。しかしながら、戦後の奇跡といわれた立直りを遂げ、世界の先進国としての評価をうける日本の前途には、必ずや、明るい将来を期待し得るものと信じます。我が朝日町は、新町建設以来、すでに十有二年、一応の基礎作りができ、長い町民の努力の成果が着々実をみのらせつつありますことはまことにご同慶にたえないところであります。町政に臨むにあたっては、人間の尊重と相互理解を第一義と心得て参る所存であります。二万一千の人間がここに生れ、ここで育ち、そしてここで生活してゆくのであります。

就任のあいさつ

朝日町長 中川 雍一

立場の相違こそあれ、だれ一人として、

れます。

(中川氏略歴)

京都大学(旧制)農学部卒
京都大学(新制)教育学部卒
同志社大学職員

朝日町助役(昭三八、一、四一、一三)

運命の共同体である、この故郷朝日町を愛しないものがありましようか。地方自治体は三割自治といわれてすでに久しく、自治の理想にはほど遠い幾多の困難な問題をかかえてはおります。しかし、この困難を克服して参るには、何としても、町民一九となつた協力がなければなりません。

民主主義の原則に立ち、迎合を求めることなく、尽くすべき論議を尽くすことは当然であります。二万一千の相互の幸せという一点であるかと存じます。町民各位には、町が自分のために、何をしてくれるのかと考えていただけでなく、同時に、自分は町に対して、何を寄与してゆくのかということも考えていたというふうな、そのような町になることが小職の理想であります。

なお具体的な課題としては、昭和四十二年度を第一年度とする、町政四カ年計画を作成する所存であります。初年度は財政の均衡を基調として前町長の遺志を完成させたいと考えております。即ち、町立泊病院の建設、宅地造成の仕上げ、構造改善事業の推進、中央公民館の建設等を実施して参る所存であります。昨年は、幸いに、大きな災害もなく、農作物もまた、良好な収穫がありました。また、沢田さんのニューリッパ日本一につづいて、泊小学校の藤系岳君が繰り方日本一の表彰をうけるなど、喜ばしいできごともありました。本年もまた、きつとよい年になりますよう、ご一同ととも祈念いたしたいものであります。おわりにあたり、町民の皆様が、ますますご健康にあらんことをお祈り申し上げます。粗辞ながら、就任のごあいさつにあわせて年賀の言葉にさせていただきます。

年頭のあいさつ

朝日町議会議長 金井 憲治



新年をむかえるにあたり、町議会を代表し、謹んで町民各位のご清福をお祈り申しあげます。

情勢はもとより、国内の政治、経済は、ともに重要な事態に直面し、いつにない緊張した正月を迎えたのであります。わが町にとりましても、本年は、最も大事な年になるという感を深くするものであります。

本町が充足してから既に十数年、町民各位の深い愛町の精神と、理解ある協力によつて町政は着々と進展いたしてまいりました。しかしながら、本町が、より高く、より大きく躍進するためには、画期的な事業が成し遂げられていかなければなりません。

今ここに、多年にわたって計画され、促進されておりました電源開発をはじめ、新堀、長野両県にまたがるスーパー林道の開設、又、城山周辺を中心とした抜本的な観光開発それに加えて地下天然ガスの開発等、町のも

未(ひつじ)年に思う

昭和四十二年の新春を迎え、心からおよろこび申し上げます。とくに、よい年であることを祈念いたします。

さて、今年、四十二年は、暦(こよみ)の上では、丁未、ていび、ひのとひつじ(男、羊)の歳にあたります。古来ひつじの年は、物事すべて羊の如く、平穏(へいおん)な年とされてゐる。昨年は、ひのえうまの年で、当町においても物事騒然たるものがあつた。年末、馬は後足の一けりです。無情にも本村町長を幽界におしやつてしまった。惜しみて尚あまりあることであつた。かく、荒れに荒れた年を送つて、羊年という、新しい年を迎えて、わたしたちの

る資源の開発は、本年こそ、そのすべてが緒につく絶好の機を得るものと確信するのであります。

町においては、多年つちかわれてきた信頼を基礎に、関係方面との具体的方策に着手しようといはれておりますが、この大事は、ひとり当局のみでは成し遂げられるべきものではなく、内外の協力が必要であります。町民各位の積年の努力が、いよいよ実らしめるよう総力を結集して当りたいものであります。

本年における町政の課題は、実に大きく、本町にとつては、今日ほど大切な時代はないのであります。時あたかも、明治百年に当たっております。

われらの祖先が築いた明治期の日本の近代化は、世界に誇るべきものであり、今にして力みなざる感を抱かします。

この時において、又とない大事に当り、そして今日の町政の果敢なる近代化を図るにはまさにふさわしい天与の年と思はれてなりません。町議会といたしましては、この際、さびしい現状を直視し、内外の動向を考え、近隣市町はじめ関係方面との経緯を深め、そして又、安定した政策を基礎として心氣一新して事に当つていきたい所存であります。

ここに、町民各位の絶大なるご支援とご協力をお願い申しあげ、年頭のこあいさついたします。

希望は、新しい年、そして新しい町長、そこにはひたすらに、明るく、発らつたる成長をもたらすであらうことに、胸はふくらみ、みだされる。これが善良なる町民の同じ気持であらう。

しかし、昔の言葉に、羊質虎皮(ようしつこひ)といふのがある。なかが羊で、外皮だけが虎であるといふことで、いわゆるみかけたおしは大いに憤しむべきである。又、羊頭狗肉(ようとうくにく)は、羊の頭を看板に、犬の肉を売るか如きひれつなこともしたくもないし、してもらいたくもない。到底相手になれぬと知りながらも、羊を駆(か)つて狼に向うような愚も慎しむべきである。

希望にみづる年昭和四十二年を共に祝わん。

あさひ編集委員長 九里道守

税務だより

バイクも、強制保険の対象に

▽バイクも、強制保険の対象に

昨今、交通事故が激増しておりますが、特に目だつてクローズアップされてきたのは、バイクの事故が相当大きい比率を占めていること、そのため今回の自動車損害賠償保障法の改正で、十月一日から、一般にバイクと呼ばれる原動機付自転車を使用する場合強制保険に入っていないければ処罰されます。

強制保険を扱っているところは、保険会社、代理店、各農協等(責任共済と呼ばれる)、他の強制保険と内容は同じです、一年間の保険料は二、五四〇円です。

この強制保険に入っていれば、万一事故を起こしたとき、被害者に対して支払った損害賠償金のうち、死亡なら一五〇万円まで、傷害なら五〇万円までは保険会社、農協等から



▽退職所得に

(税務課)

対する町県民税の課税方法が変わります

昭和四十二年一月一日以後に、会社等を退職される人の退職手当等に対する、個人の町県民税の課税方法が変わりました。

従来、退職所得については、他の所得と合算して、退職した年の翌年度に、個人の町県民税が課されておりましたが、今後は、所得税と同様に他の所得と区分して、退職手当等の支払われる月に、特別徴収(給与等に対する個人の町県民税を天引きし、かつ、徴収した税金を町に納める方法)されることになりました。

真心の成果

(税務課)

歳末たすけあい運動

昭和四十一年度朝日町歳末たすけあい運動による、各地区別の集計及び配分の結果は次のとおりです。町民各位の温い真心に対し、厚くお礼申しあげます。

(朝日町社会福祉協議会)

昭和41年度

歳末たすけあい運動集計及び配分表

地区名	加世	参世	たい	すけ	あ	対象	配分	済額
宮内	276	21	105	16	22	400		
境	209	15	174	11	17	650		
崎川	190	12	146	8	10	700		
泊ヶ	1,701	118	1,113	73	97	450		
庄保	522	30	140	6	13	400		
家崎	438	27	006	19	32	350		
中	518	33	974	17	31	050		
計	541	32	170	18	26	700		
	101	5	700	6	5	900		
	4,496	295	528	173	257	600		

残金は、社会福祉施設入所者及び長期療養者重度肢体不自由児等の慰問費です。

郷土の詩人

舟川栄次郎氏逝く

郷土朝日町が生んだ、純情詩人舟川栄次郎氏は、数年前から、持病の心臓病が悪化し遂に十二月二十七日、六十才の生涯を閉じた。氏は青年時代から、詩人高村光太郎に師事し、中山輝、草野心平、深尾須磨子、源氏鶏太、等と共に詩作に従事し、貧苦と病弱の中で、戸籍簿の社会、潮騒、夢の橋等の詩集を世に送り、自ら白萍社を起して郷土文芸愛好者の育成と文化の向上に尽した力は大きい。

夫人、日本舞踊家、猿蓑勘三津を迎えてからの晩年までの生活は療養生活の中にも幸福な一面が見られたが、天命抗し難く、温い夫人の看護や門下の見守る中に永眠された。

氏は戦時中、戦争ムード一色の中にあつて、官憲の圧迫と戦いながら、現在の町立図書館を創設し、これを守り続けて来た努力は、時の町長、野田仙之助氏、大管文治氏の理解もさることながら、高く評価されねばならない。氏の残された数多くの詩や業績はまことに大きく、氏の逝去は各界から惜しまれている。

さらに陣容を充実し

文化財調査委員改選

昭和三十八年以来、目ざましい調査活動を続け、多くの町文化財顕彰に努めてきた、町文化財調査委員の任期(三年)が昭和四十一年十二月二十四日で満了になり、改選の結果次の八氏が任命されました。

委員長	小川弥一	再
副委員長	森群平	再
委員	柳沢浩	再
委員	大菅達二	新
委員	九里道守	再
委員	野島二郎	再
委員	大田弘	再
委員	竹内俊一	新

(教育委員会)

図書新刊案内

米内光政 朝日町立中央図書館
破壊指令 実松謙
大藪春彦 異常の門
錦魚の魅力

幸福の条件 武者小路実篤
たぐいまるい人 テレビ編
失われるのは鎖だけ 地主金悟
境の中の境界 朝永振一郎
人物日本の歴史14巻 続売新聞社
水石の見たてと手入れ 井上良夫
鷹ドンファン 吉行淳之介
おれも浮世がいやになった今 東光
京都物語 上中下 水上勉
金環 石川達三
女弟子 有吉佐和子
味の芸談 長谷川幸延
湖の琴 水上勉
美のうらみ 岡部伊都子
ケネディ 中屋健一郎
野の道野の塔野の仏 加藤 薫
徳川家康 25巻 山岡荘八
しきたり事典 伊達邦治
何をたよりに生きようか 邱永漢
現代官僚論 松本清張
関ヶ原 司馬遼太郎
川柳二百年 川上三太郎
三國志 吉川英治
柴田錬三郎 徳間康快

朝日町議会誌

(3)

記

- ① あなたは議員としてまず手をつけたと思うことはどんなことですか。
- ② 朝日町の最も大きな問題は何かとお思いませんか。
- ③ 朝日町の農業の将来についてどのような対策が必要だと思いますか。
- ④ あなたは今日の青少年に對しどんなことを望みますか。
- ⑤ あなたは朝日町の特性はどんな点だと思えますか。



松本 繁 議員
島田 水境 議員
水境 産 議員
松本 繁 議員
島田 水境 議員
水境 産 議員

- ① 平和にして明るく、そして、心からの話しあいによって、着実に実行できる町政を推進したい。
- ② 計画的な健全な町政を基調として、特に電源開発事業と、忘れかけた天然ガスの積極的な開発が望ましい。
- ③ 土地改良構造改善事業の促進に加えて、近代的な多角経営に、今一つ、冬期間の農家対策を含めた計画が必要。



三郎 議員
三郎 議員
三郎 議員
三郎 議員
三郎 議員
三郎 議員

- ① 美しい夢と希望をもつ青年が共存する社会の一員として、常に自分の言動に責任をもってもらいたい。
- ⑤ 背面の山と三筋の河川は、電源開発の要素をもち、山紫水明で、白砂青松の海岸は比類ない観光朝日にふさわしい。

- ① 広域地域開発の観点から、隣接する町と連絡協調を図り、すみやかに合併を促進する。
- ② 黒部川水域に關係ある市町の協力により、朝日発電所の建設、黒東地域の地下資源たる天然ガスの開発及びスノーバー林道の実現。
- ③ 農家の稲作安定増収と五割以上の省力化のため、農業構造改善の計画化と推進を計ること。
- ④ 少年には少年法の適用を、青年には不良化に対する罰則を関知せしめ、青年としての役割使命を果たすよう望みます。
- ⑤ 天然資源に恵まれている。



二谷 隆二 議員
扇谷 隆二 議員
扇谷 隆二 議員
扇谷 隆二 議員
扇谷 隆二 議員
扇谷 隆二 議員

- ③ 農業問題はひとり朝日町のみにならず、国全体の問題であり、紙面のないのが残念。
- ④ いわゆる終戦後子の入学、就職、結婚から石の下まで競争と聞いています。それだけにたくましくあれ。
- ⑤ 町村合併で特性らしきものはなくなった観あり。これからがその特性づくりと考えたい。



治 源 議員
南 建 議員
南 建 議員
南 建 議員
南 建 議員
南 建 議員

- ① 道路事業の整備、並びに各河川の木橋を永久橋にする。
- ② 黒東市の合併問題。
- ③ 基盤整備の促進により省力を図り魅力のある農業としたい。
- ④ 小さな災害に時々見舞われるか、大きな災害は少ない。
- ⑤ 海の幸、山の幸、野の幸に恵まれている。



井 新 議員
酒 山 議員
酒 山 議員
酒 山 議員
酒 山 議員
酒 山 議員



次 文 議員
柚 木 議員
柚 木 議員
柚 木 議員
柚 木 議員
柚 木 議員

- ① 昭和三十年三月第四次包蔵水力調査の計画に当り五万分の地図に描き出されたなつかしいふるさとに流れに氣をとられ(境川の夢はすでに完成、小川の計画は地元の人々の失敗で流産)従来の布施川(三日市)ルートと全く反対に黒部の祖母谷から小川を経て日本海の笹川河口に引いた二本の直線が名もない一介の土木屋の執念で必ずなしたと見て見せたい豊かな故郷の夢が今も病みつきとなって早や十数年その間町議会に席を置き本来の天職をもちながら自ら苦難の道にとび込んだ八年前の公約を断して実現させます今年来年に……
- ② 力にまかせた町政の喰いちらかしは高い処に地盛りとなつて共存共栄の基礎をぐらつかせている。常に町全体の大局に目を向け欲すれば先づ与えよ、の倫理を町政に生かすことである。
- ③ 増産よりも抜本的な農業機構の改善につとめ少くとも二次産業に先を越されない百年の推移を適確に

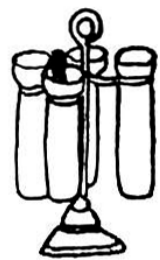
成人者名簿

追加・訂正・抹消

十二月号(第一三六号)「あさひ」に、次の方々を追加、また訂正、抹消いたします。

- 追加
- Ⅰ 一区 杉本きみ子 佐藤幾代
- Ⅱ 二区 殿村和敏 平田和俊
- Ⅲ 三区 小杉忠子 吉井洋子
- Ⅳ 四区 根建正明 堀地美喜子
- Ⅴ 五区 南保地区 佃 雅子 長津栄蔵
- Ⅵ 六区 山崎地区 山田知章
- Ⅶ 七区 安達邦春 小川徳男
- Ⅷ 八区 野中地区 小川徳男
- 訂正
- Ⅰ 一区 植木多喜子→多喜子
- Ⅱ 二区 水島直臣→水島直志
- Ⅲ 三区 宮崎地区 扇谷はる→悦子
- Ⅳ 四区 抹消
- Ⅴ 五区 梅沢正和 和田陽二
- Ⅵ 六区 中島弘子 舟見八郎
- Ⅶ 七区 南保地区 森島ミサノ 米丘礼子

国民健康保険だより



医師にかかる心得

この世に生まれた人は、たれでも楽しい生活を望まない人はありません。いくら、金と暇があっても、体のどこかが、痛かったり、気分が悪かったりしては楽しい生活が送れません。病気になるば「お医者さま」にたよる以外方法がないのです。そこで、私たちが不幸にして病気になるたとき、お医者さまにどのようにたよったらいかが考えてみましょう。

は、なるべく軽く云つてくれる医師を信用したくなるものです。これは危険で、あれこれ医師をかえていうちに、手遅れとなつたりします。ガンで手術の時期を逸するの、こいうケースが多いのです。かかりつけの開業医にみて貰つて、治りがはかばかしくない場合、どうしても納得のいかない場合とか、かかりつけの専門医以外の病気のときは、その開業医とよく相談して、どこか適当な大病院、他の専門医の開業医を紹介してもらうのが適切です。

第一に、やたらに医師をかえる事は禁物です。自分の健康なときのカルテから、病気を診断してもらうのが、ホームドクターですので、たえず医師を変えていたのでは、この長所が生かされません。自分の病気を、次々に、何人もの開業医にみて貰う人があります。これも感心しません。どんな病気でも、初期ほど症状が出揃いますから、初めにみた医師ほど診断がむづかしく、あとからみた医師ほど診断が容易にできるのは当然です。又、何人もの医師の診断を受ければ、どうしても、その内の一人や二人の医師は、軽く云う結果になります。病人の心理として

第二に、医者にみて貰う時は、自分の状態を、よく正確に話す事です。いわゆる門診と云つて、医者はその症状を聞きながら、いくつかの病気にしほつて、診察も、検査をして最後に病気をきめて、適切な治療をするのですから、出発点の症状を話すときに誤りがあれば、診断にもくるいが生じる事もあり得る事です。又、治療については、万事その先生におまかせして、自分からこの注射をしてくれとか、この薬をくれとか、決して云わない事です。医者は、患者を治すため、最良の方法を取るものです。

第三に、病気は早期に、正しく診断し、早期に、適切な治療をしてこそ治りやすいものなのです。体の事は、大小を問わず、自分の決めたホームドクターと、患者とは信頼の上になりたつものです。

(民生課)

婦人会だより

よき母よき社会
人を目ざす境婦
人学級

富山県研究指定となつた境婦人学級は、「主婦労働と子ども教育」というテーマのもとに、六月十四日開級されました。学級生は四十二名でほとんどが三十年代四十代の働きざかりの主婦です。学習内容は次のような事を中心に勉強しております。

- 一、主婦労働
- 二、子どもの教育
- 三、家庭の人間関係と子どもの教育的影響
- 四、健康管理

境地区は、昔から、主婦か外へ出て働くのが当然とされるところですので、夜七時三十分より講義が始まりますが、学級生は一日の重労働を終えて心身共に疲れてい



るにもかかわらず、自分たちの身近な問題だけに、熱心に学習と取り組んでおります。

又、学級を開設すると同時に、視聴覚の委嘱学級にも指定され、映写技師も学級生の中から二名選出し、今では、その人たちが、映画の担当者として活躍し、映画を鑑賞したあと講義に移り、考えた事をお互いに話合つて、心と心を通い合わせるという意味で、バスセツション(六六討議)という方法で、各グループに別れて意見を出し合つたりして、毎日有意義な

「住みよい
郷土づくりを」

南保地区の青年学級

南保には二つの青年学級がある。南北帯状に長い南保の地形は私たちの活動に支障を来してきた。このことから、今も、南保青年学級、蛭谷青年学級と二つの学級を設け学習している。

両学級は、各独立した運営により学習し、校下青年団を連絡の場、に、たびたび合同学習も行なっている。

南保青級は、今年度年間学習計画に基づいて、特に、住みよい郷土作り、人間関係などを重点的に学習している。蛭谷青級では、その構成が蛭谷一部落の青年であることから、積極的に地域の問題に取り組み、農産展示会、民芸会などにまで進めており、蛭谷ならではの独特の家庭ムードを作り出している。

しかし、いずれも、夜間の、暗くて遠い集会場への問題、昨今の

学習をしております。

いかに機械文明が発達しても、人間は人間たけしか教育ができないのであります。学習で学んだ事を、家庭の中で少しづつ生かして、親子の心のふれあいを大切に、社会へ出て行く子供の教育のために、母自らが社会人として成長し、婦人の地位の向上と、子どもの教育のために組まれた学習である事を再認識して、人間研修の場として、今後も熱心に学習と取り組んで行きたいと願っております。境婦人学級長 水島みな

離農離村による学級生の減少などの悩みも大きい。このようなことで、南保青級では、当初の学習計画が継続しにくく、ともすると、レクリエーション学習で人集めに傾くことがある。又、蛭谷では、その家庭ムードのマンネリ化が懸念され、時々本来の青年学習の確認が必要である。

この他、校下団は一つでありながら、別々の青年学級のため、その系体など、他校下には見られない問題点もある。

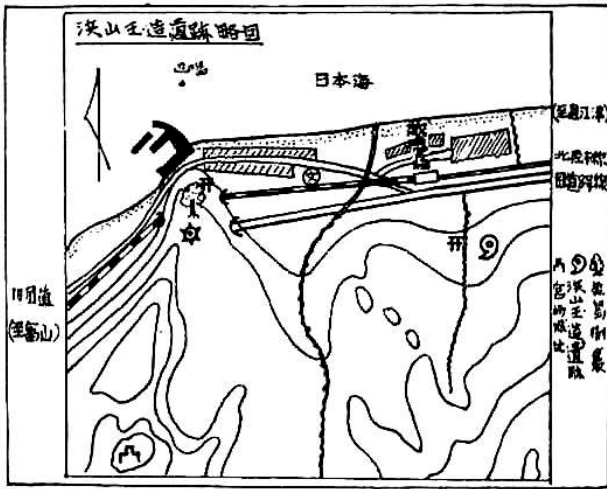
しかし見通しは明るい。私たちは校下青年団を主体として、青年学級の運営、体質改善に取り組んでいる。そして先日の青年祭あたりから、若い学級生が大いにハッスルしてきた。去る十二月には校下全青年に呼びかけ、南保青年の集いを行なった。

(南保青年学級)

青年学級だより

— 朝日町考古資料 —

古代史の鍵をにぎる「浜山玉造り遺跡」

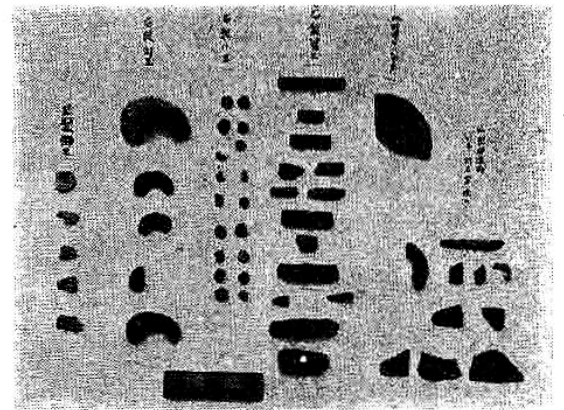


浜山玉造り遺跡は、越中宮崎駅ホームの南東に、深緑のびよりぶをめぐらせてそびえる黒髪連山の麓、海岸平野を東西に縦断する、北陸本線と国道八号線や沼田の水も冷たい野面四五〇米をへだてる指呼の間、標高にして一五米、二五米、舌状台地の耕作された畑の中で一五〇〇年も眠り続けてきました。

ここからは、古墳時代を象徴する、(勾玉、管玉)、飾玉を初めとして、各種類の玉や石製品、玉を磨いた砥石、ヒスイ、メノウ、水晶などの製造用原石、破片、居住生活の炊事などに使った土器(土師器)の破片が、宮崎小学校社会クラブ児童の協力などで約八〇〇点も採集されたことから、古墳時代の玉造り跡と認め、その後、国学院大学寺村講師との精査明治大学考古学研究室の大塚助教の指示により、玉生産の工房跡も存在することを認めています。

古墳時代とは、世界最大の墳墓で知られる仁徳天皇の御陵などが構築された頃で、全国各地に残る古墳もこの時代に築かれた事から、今から約一六〇〇年(三世紀末)〜一三〇〇年(八世紀初)前の四〇〇年程を、考古学の区分として、そう呼んでいます。

この時代は、大和を中心に、近畿、西日本に勢力を持った朝廷(天皇家の祖先)と、各地方に独立した豪族たちがいきました。四世紀頃の朝廷政権は、次第に越の国(北陸地方)にも支配力を伸ばし、石川、富山と、この地方に勢力を張る豪族たちを服属させて、北日本海側にも権域を拡大して参りました。北陸攻略に当たった朝廷軍は、当初、海岸沿いの主な豪族を手なづけ、成功すると、拠点を次々と北東に移し、内陸部は、服属した豪族たちを攻略させたようです。一國がほぼ服属するに、朝廷から任命された地方官「国造」が治政にあたりました。このようにして大和政圏に入った地方の豪族たちは、朝廷の支配と同時に、その文化も受けて、古墳を築いたものと想像されます。



浜山玉造り遺跡から発掘された勾玉類

富山県下の古墳は、五世紀以降の形式が多く、五世紀頃に伊弉諾(射水郡)国造が任命された史実と相通しています。境川を越えた新潟県では、五世紀の末頃になって、久比岐(頸城地方)国造として、青海の首一が任命されたと言われますから、北陸攻略の朝廷軍が朝日町にたどり着いた頃と推定されます。

おそらく、朝廷軍が越中の豪族たちを服属させた後、親不知(カンバラ)・頸城の山岳地帯や怒島がまき海岸回廊を越え、一気に越後平野に進出するため、宮崎海岸に最前線基地が置かれ越中の兵員と軍需物資の集結を行ない、友好、或いは服属しない姫川下流の豪族たちと交渉を進めていた頃、軍団に付属する玉造りの人々が、浜山に工房を構え、運ばれた滑石や、宮崎海岸に打ち上げられたヒスイの漂石、附近に産出するメノウ、水晶などの転石を採集し、せつせと玉、石製品を生産して、朝廷や豪族たちの需要にこたえたり、祭祀具に提供していたのではないかとみられます。

古墳時代の政治、経済、文化などの歴史を知るためには、古墳やその出土品(一者に納められた、玉類、カガミ、剣、土器、ハニワなど)を調査したり、それらの生産地を研究する必要があります。しかし、古墳は数多く見られますが、生産地はそうざらにありません、考古学の中でも、最も調査の困難な当時の経済交流の状況は、生産地の研究があつて初めて成果を得ることができるようで、玉造り遺跡としては、玉造温泉で名高い出雲の玉造り一もありですが、「浜山玉造り遺跡」は、玉や石製品の製造に用いた、ヒスイなどの原石や製品の種類も多く、位置は、両越国境、時代は古墳期の中頃という点で、全国的にも類例のないものです。

従って、この遺跡を調査する事は、単に珍しいからということだけでなく、朝日町や富山県を含めた、北陸地方のあけぼのの歴史を解く資料となるのももちろん、日本で唯一の事例として、我が国の古代史研究に対して極めて重要な貢献をなし得るものといわれています。

では、今すぐにも発掘調査をすればと考えられますが、どんな遺跡でもそうですが、埋蔵された文化財は、一度発掘調査をすればすべて原形が破壊され、再び埋蔵された時代のままにもどすことは不可能になります。そのため、文化財保護法では、むやみに発掘できないように、どうしても研究する必要がある遺跡の調査にも、地主や国の許可はもとより、発掘者も、専門的な知識と技術のある人たちが慎重に行ない、詳しい報告書と発掘資料を、関係機関に提出するよう義務づけています。

何はともあれ、日本の歴史研究に貢献し、発掘の経過や遺物と遺跡を全国に紹介し得る条件を、町内に備えていることは、教育の伸展はもとより、観光資源の開発を志している、朝日町にとって、誠に喜ばしい事だと思えます。浜山玉造り遺跡の真価が理解され、末長く活用と保存が行なわれるよう期待いたします。(朝日町文化財調査委員会)

町指定文化財紹介(7)

域は黒東地方を指すことになる。しかし、その後変遷があつて、写真に見受けられる三位組とは、泊、沼保、荒川新、大屋、横尾、笹川、宮崎、境、大平、道下、南保、石谷、蛭谷、山崎、山崎新、中野(野中ではない)、今江、舟見、愛本新、明日栗虫、音沢の二十二カ村の地域である。三位組は文政四年(一八二二)に設置され、代官(租税の担任)は藩

拓者佐味氏より出たものとされている。「姓氏録」に、佐味氏は、崇神天皇の皇子豊城入彦命の子孫とある。「延喜式」の駅馬の条に、「水橋、布施、佐味」とある点から考察して、その地域は黒東地方を指すことになる。しかし、その後変遷があつて、写真に見受けられる三位組とは、泊、沼保、荒川新、大屋、横尾、笹川、宮崎、境、大平、道下、南保、石谷、蛭谷、山崎、山崎新、中野(野中ではない)、今江、舟見、愛本新、明日栗虫、音沢の二十二カ村の地域である。三位組は文政四年(一八二二)に設置され、代官(租税の担任)は藩

三位組という語の最初の文献は、宝龜十一年(七八〇)の「西大寺資財帳」に見られる「新川郡佐味庄」であつて、その佐味の名は開拓者佐味氏より出たものとされている。「姓氏録」に、佐味氏は、崇神天皇の皇子豊城入彦命の子孫とある。「延喜式」の駅馬の条に、「水橋、布施、佐味」とある点から考察して、その地域は黒東地方を指すことになる。しかし、その後変遷があつて、写真に見受けられる三位組とは、泊、沼保、荒川新、大屋、横尾、笹川、宮崎、境、大平、道下、南保、石谷、蛭谷、山崎、山崎新、中野(野中ではない)、今江、舟見、愛本新、明日栗虫、音沢の二十二カ村の地域である。三位組は文政四年(一八二二)に設置され、代官(租税の担任)は藩

三位組標旗(笹川村肝煎)
笹川二〇番地 竹内益太郎氏所蔵
この標旗は、三位組の肝煎(きもいり)にあてえられた標旗である。この品は藩政末期のもので、古さとしては大したことはないが、現在では、そのほとんどが失われ、富山県でもその存在は少なく、朝日町としては、誠に貴重な品で、民俗資料として大切である。



官の指揮監督下に勤務していた。宮崎村の歴史と生活(一五八頁)に、大明

土から、年寄役(大庄屋に当る)は五年(一七八五)に三位組が存在したと明記されているが、誤りゆりである。明治二十一年(一八八八)天保十年(一八三九)、加賀藩には地方制度の改革が行なわれ、右の三位組を次郎左衛門の嗣子、彦四郎祐恭が十村役と代官役とを併任して、一万石余りの地を支配することとなり、彦四郎の嗣子、次郎左衛門祐明に及んで明治維新を迎えた。各村の肝煎(村長)はこの十村代る。

来年度就学児童の 知能検査・身体検査はじまる

町の各小学校では、来年度の新1年生の編成などに必要なため、それぞれの小学校管下の、来年度就学児童の身体の状態や、知能の概要について知り、就学後の指導に支障のないよう、このたび次のような各種の検査を行なった。

▼知能検査の方では

話す力、書く力、数える力、判断力、適応性

▼身体検査の

面では

身長、体重、
胸囲、内科、
歯科、色神、
視力等

(教育委員)



御題「魚」随想

ことしの御題(戦前は勅題)は「魚」(うお)と決まり、すでに一般の詠進者の入選も発表され、近く宮中歌会で発表される。

日本人は魚類一般を「魚(うお)」または「さかな」とよんでいるが、さかなとよぶようになったのは、大体江戸時代に入ってかららしい。これは、日本民族が、原始琉球時代から食料として山野にけものを追ひ、海や河川湖沼に魚介類を求めて生活していたが、奈良時代の仏教伝来以来、その影響を受けて、食生活の主流を、四足の動物を追うことから次第に、海や河川湖沼において魚や貝をとることへと移っていったのである。

また、中国からいねの栽培が伝わってから定着生活に入り、それ以来、主食を米に、副食は主として魚貝類を中心とした食生活になつていったのである。「さかな」は「肴」からきた呼び方で、これは魚肉類を煮た料理を指したのが次第に「おかず」の俗称となつたもので、従つて、おかずといえは、大抵魚にきまつていたようである。さらに、魚と肴が一致して魚を「さかな」とよぶようになったのである。

また古代には「いお」、「うろくす」、「いろいろす」などといふでいたことがつぎのいくつかの歌で知られる。

宇治川の底に沈めるうろくすを網ならねどもすくいつるかな。

(栄花物語)

男山秋の今日とや誓いけむ、河瀬に放つよものいろくす(新六帳)

水ひたる池にうるおち滴りを命に頼むいろくすや誰れ(山家集)
荒海のいかれるいおの姿(源氏物語)

古代から日本人と魚との関係は深く、既に記紀歌謡(古事記、日本書記)の中にでてる歌謡群をさすの中に魚のなまがでてくる。常へに君も逢えやもいさな(鮎とり海の浜藻のよるときどきを允恭天皇八年(四一九年))

潮瀬の波折みれば遊び来る潮(しび)が、はたてに妻立てりみゆ 仁賢天皇十年(四九八年) み吉野の吉野のあゆ、あゆこそは島辺も寒き之苦之(童謡の一節)

なお「魚」は象形文字で「ぎよ」の音は、魚がバクバクする(喰さよ)からきている。さて、世界の海や河川湖沼にいる魚の種類はざつと一万三千種で、日本の近海や河川湖沼に住む魚の種類は約二千種に及ぶといわれている。

御題も数年前から盗作問題などが起こり、宮中歌会の詠進歌にまで何となく悪い感を感じられたが、ことしこそそんなことかないことを祈りたい。

主観的、客観的、抽象的、いろいろの面から、日本人の生活の中から切り離すことのできない「魚」を歌った秀歌の発表されることを期待しよう。

雪の上に並べられたる寒鰯の肌は虹色の光を放つ 筆者詠

(編集委員 間部善治)

農事教室



農業生産計画をたてよう

希望にみちた新春を迎えましておめでとうございます。

農家の皆さんは、今年こそと、それぞれ希望をもっておられることでしょう。

「ことしは、反当り十畝平均取りたい」と計画しておられる方も多いようですが、朝日町の農家収入の八割近くが稲作収入ですから、水稻の多収計画は当然のことです。

昨年は、八月の異常高温のため、ウンカや紋枯病の被害にあい、思わぬ減収になった人もありました。が、総体的には、予約量より多く供出された農家が多く、検査等級も、三等以上が九(九)以上の成績であったことは嬉しいことです。

朝日町五カ年計画の初年度として二割増産をよびかけた成績としては、まずまずの成績であったようですが、ことしは、稲作技術をしっかりと身につけ、さらに増収していただきたいものです。

佐賀県は日本で最も反収の高い県で、昭和四十年の平均反収は五二二キロ(最高六二二キロ、最低二八八キロ)ですが、これに対し、富山県は、平均反収四三二キロ(最高四七五キロ、最低三三三キロ)と劣っています。佐賀県の特徴と考えられる

ことは、①稈長が短い②倒伏性に強い③紋枯病に強いものが重点作付けされ、穂数型が多いことです。また一面、密植が行なわれ、坪当り八十株位植付けされているようです。

昭和四十一年度農産部門の天皇杯を受賞された竹本平一氏(右川県能美郡寺井町牛島)は、牛取川扇状地左辺中央部の、しかも、その土壌は四〇〇の湧水する平湿田の植栽上であるため、水稻の生育後半期に根腐れがはなはしい、又紋枯病も常発する低収地であったのに、昨年はそれまでの平均反収六・八キロをはるかに上まわる七・八キロと、牛島部落農家平均反収(四七二キロ)の三割も多い収穫をあげておられる。このように、いろいろ研究することによって、必ず増収できるので

朝日町も、県下各地の稲作研究会のように、水稻増収意欲の高い農家が集って、一生懸命研究すれば、案内たやすく増収の実をあげることができるようではないでしょうか。昨年、ウンカの防除が、個人個人に行なわれたため、共同防除した年と違って農薬がきかなかったと云われている例があるように、今や、農業は集団的活動の時代です。ことしの農業生産計画は、まず集団活動から。そして、大きい心をもって、明るい農村設計に向かって、新しい分野を開拓していききたいものです。(入善農業改良普及所朝日支所)

交通安全

スリッパ事故に注意!!

雪の降りはじめに多い車のスリッパ事故に注意しましょう。

運転者は、

- みぞれや雪道は、急ブレーキをかけたでもスリッパします。常に徐行することを忘れずに。
- すべり止め用のチェーンを常に携帯するように。
- 前の車との間隔を十分に。



道を歩く人、自転車乗りの人は、

- 右はし通行を守り、車かきたら道の脇へよけるよう。
- 道を横切を時は、自動車かこないかよく確かめて。
- 自転車に乗る時は、合羽の頭布を深くかぶらないで、物音が聞えるように。

(交通対策協議会)



1月保健衛生事業

成人病検診	11日 1時30分～3時 荒川公民館 (泊三区)
行組合(東草野、清水町)	17日 1時30分～3時 東草野突
民館(小更、越、竹ノ内)	25日 1時30分～3時 竹ノ内公
乳児相談	10日 1時30分～3時 境連絡所 (境)
所(山崎地区)	13日 1時30分～3時 山崎連絡
婦婦検診	27日 1時30分～3時 泊保健所

祝成人式

日時 一月十五日 午前十時
会場 泊小学校講堂
第十九回朝日町成人者数

男 一三三名
女 一七六名
計 三〇九名

消防署だより

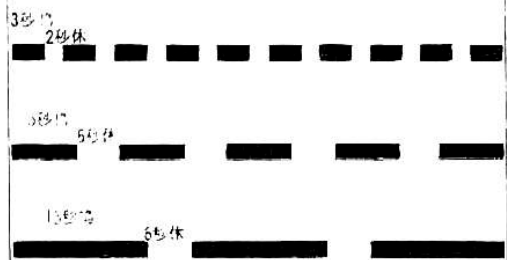
火事のサイレンが鳴ったときに、火事はどこたるうーと思われることがよくあると思います。そこで、もう知っておいての方も多いと思いますが、改めて消防信号をお知らせします。

(消防署)

号内 信下 火校 近各
朝日町全域
予防訓練(集)

10回以上
5回
3回

消防信号



編集兼発行 朝日町役場
印刷所 高田印刷
送料 六六円
定価 六六円